

平成25年度第12回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：平成26年3月13日（木）13時00分～14時30分

場 所：熊本県立大学大会議室

出席：学長 古賀 実  
副学長 半藤 英明  
事務局長 岡本 哲夫  
文学部長 山田 俊  
環境共生学部長 堤 裕昭  
総合管理学部長 松尾 隆  
地域連携・研究推進センター長 松添 直隆  
学術情報センター長 三浦 章  
環境共生学研究科長 北原 昭男  
熊本日日新聞社新聞博物館長 平野 有益  
昭和女子大学大学院特任教授 渡辺 満利子

オブザーバー：総合管理学部教授 津曲 隆

欠席：熊本県公立高等学校長会会長 中西 真也

事務局：元島教務入試課長、安達学生支援課長、福永総務課長、花村企画調整室長、前田地域連携・研究推進センター事務長、野尻学術情報センター事務長、教務入試課阿蘇品班長、同課西本班長、企画調整室山田参事

1 開会（進行：田代次長）

2 学長挨拶

3 議事（議長：古賀学長）

（1）審議事項

① 平成26年度年度計画（案）について

事務局企画調整室から、資料1に基づき、平成26年度年度計画（案）のうち、大学の教育研究に関する年度計画案の主な項目について説明があった。

審議の結果、経営会議、理事会で審議することを承認した。

② 平成26年度非常勤講師の採用について

事務局教務入試課から、資料2に基づき、平成26年度非常勤講師採用について、第10回教育研究会議（平成26年2月17日開催）時点で未定であったものについて採用案の説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

③ 全学教育推進センター（仮称）の設置について

事務局教務入試課から、資料3に基づき、「平成27年度新カリキュラム施行を目指す

し全学共通科目構想プロジェクトをつくり、全学共通教育のカリキュラムを検討しているところであるが、このプロジェクトはカリキュラム検討の時限的なものである。そのため、カリキュラム施行に向け、また施行後の全学共通教育に関する教育企画、管理の責任主体として、全学教育推進センターを常設の組織として設置したい。また、センターの中に教学 IR 室を設け、学修評価を体系化し、教育改善に向けて取り組むこととしている。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

④ サバティカル研修制度の新設及び未来基金からの一部経費助成について

事務局総務課から、資料4に基づき、「現在、教育職員の長期研修については、国外留学研修、国内留学研修として実施しているが、教育職員の研究能力向上のため、現在の研修体制を再編し、サバティカル研修制度を新設したい。これに併せて、熊本県立大学未来基金の中から若手研究者・女性研究者育成事業として、研修に要する経費の一部を助成することとしたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

⑤ 各外国政府奨学金、文部科学省「国費外国人留学生（研究留学生）」2014年秋季入学学生募集要項について

事務局学生支援課から、資料5に基づき、「平成26年2月17日開催の第10回教育研究会議において、外国人留学生学費免除制度について（案）審議いただいた際、募集要項の必要性について意見をいただいた。今回2月26日開催の第7回大学院委員会において検討し、方針案をまとめたので審議をお願いしたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

(2) 報告事項

① 文学研究科における大学院博士後期課程秋季入学制度導入に伴う「大学院研究科規程」の改正について

事務局教務入試課から、資料6に基づき、「文学研究科が平成26年度から大学院博士後期課程秋季入学制度を導入するにあたり、熊本県立大学大学院研究科規程を改正する。」との報告があった。

② 博士論文のインターネット公表に伴う関係規程の改正等について

事務局教務入試課から、資料7に基づき、「教育研究成果の電子化及びオープンアクセス化の推進の観点から、学位規則第9条が改正され、博士論文をインターネットにより公表するとともに、博士を授与した大学等は当該博士の学位の授与に係る論文内容の要旨及び論文審査の結果をインターネットの利用により公表するものとされ、それに伴い本学の関係規程の改正を行う。」との報告があった。

③ 平成26年度熊本県立大学キャンパス見学会の開催について

事務局学生支援課から、資料8に基づき、「平成26年4月5日の入学式に出席する保護者、新入生を対象として、本学の教育への理解と協力いただくための説明会として、キャンパス見学会を開催する。」との報告があった。

4 その他

次回日程 平成25年度第13回 3月20日（木）午前11時～本部棟2階大会議室

5 閉会